

『斑点米カメムシ類 多い』

本年は県病害虫防除所から斑点米カメムシ類の発生量が「多い」と発表されておりますが、8月4日にJA 営農支援課でもA地区～H地区を各1点ずつすくい取り調査したところ、平年（過去3年平均32匹）に比べ「多い（74匹）」頭数が確認されました。捕獲の内訳は「アカヒゲホソミドリカスミカメ」が全体の79.7%、「アカスジカスミカメ」が同20.3%となっております。

現在、出穂～乳熟期を迎えており、今後は気温も上がるためさらに警戒が必要となりますので、つぎにより対策及び防除に努めてください。

また、8月に入り高温日が続いておりますが、白未熟粒やくサビ米は出穂後20日間の平均気温が27℃を超えると発生が多くなるとされており、圃場の乾燥により助長されることから、この期間の天候を注視し高温日が続く場合は、間断灌水等による乾燥対策に努めてください。

斑点米カメムシ類、ウンカ類対策

- ① 圃場内にヒエ、ホタルイが残草している場合は早急に抜き取る。
- ② 出穂期10日後頃に1回目の薬剤（エクシード、キラップ等）を散布。
「たつこもち」「ちほみのり」散布適期：8月7日頃
「あきたこまち」散布適期：8月12日頃
「きぬのはだ」「ときめきもち」等晩生品種：8月17日頃が目安
- ③ 上記薬剤散布後、速やかに草刈り（薬効があるうちに圃場内へ追込む）。
- ④ 上記薬剤散布から2週間を目途に2回目の薬剤（エクシード、キラップ等）を散布。

〈 防除薬剤 〉

- ・エクシード…[粉剤DL] 3kg/10a、[フロアブル] 2,000倍で60L/10a
[フロアブル] 16倍で800ml/10a(無人ヘリ)
- ・キラップ…[粉剤DL] 3kg/10a、[フロアブル] 2,000倍で60L/10a
[フロアブル] 16倍で800ml/10a(無人ヘリ)

※JA資材課は8/13～8/15まで休業日とさせていただきます。

皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

※ 農薬の使用に当たっては使用法を確認し、環境に配慮した施用量等を心がけてください。
「水稻技術情報」<https://www.ja-ogata.or.jp/farming2/>をホームページで閲覧の際は、これまで必要だったパスワード入力なしで閲覧可能になりました。

※水稻以外の技術情報は、これまで通りパスワードの入力が必要です。